

# 世界中の女性たちへ 2021年4・26呼びかけ

この呼びかけは世界中で400の行動を呼び起こした2016/4/26のアピールに続くものです。

## 背景

1986年4月26日、チェルノブイリの原発事故が始まった。35年の歳月をかけて分析・解説・撮影されたこの現代史の一大事は、未だに「21世紀の人類が解明すべき謎」だと、スヴェトラナ・アレクシエーヴィッチ（2015年ノーベル文学賞）は語る。1997年にロシアの雑誌「人民間の友情」に掲載されてから数多くの言語に翻訳された彼女の名作「チェルノブイリの祈り」は、技術開発と人間の愚かさによる取り返しのつかない災害を、世界中の読者に認識させた。



2019/8、アルプス・ヴァロルシンで演じる  
ナタリ・ヴァヌロ

この悲劇的な物語は、演劇、ラジオ、映画に脚色され、多くの会議、記事、小説、インタビュー、そして論争をも引き起こした。

平凡な恋愛の物語から始まる「チェルノブイリの祈り」の序文は、読者を人類史上未曾有の技術的災害の中心に連れ込んで行く。消防士の夫を語る若い女性の率直な証言が、赫々（かっかく）たる叙事詩へと展開。

夜中に呼び出された夫は、「普通の火事」とだけ報告されたものを消しに、14人の同僚と共にレーニン発電所の4号機へ出動。数分で急性被ばくし、断末魔の苦悶は14日間続いた。非合理と恐怖の中、そして狂気の愛の中、14の幻覚の日々。

夫と妻をはじめ、家族や友人をも打ちひしぎ、そして「医学」、「科学」、「政治力」、「軍事力」にも破滅をもたらした。それもソ連だけでなく、世界的に。

この「愛のうた」を世界中の女性達が歌い、地球規模の巨大な女声合唱で響かせたい。

声を出して朗読したり、人前で発言をするのが好きですか？女優のあなた？素人のあなた？2021年4月26日の好きな時間に、世界のどこかで、スヴェトラナ・アレクシエーヴィッチ著「チェルノブイリの祈り」の序文、「孤独な人間の声」を読み上げてみませんか？演じてみませんか？

各言語に翻訳された本の出版社一覧：<https://april26appeal.noblogs.org>



2006/4/26 チェルノブイリ原発の前で演じるナタリ・ヴァヌロ

本屋、図書館、廃墟、アパート、劇場、公共の庭、教室、廃工場、森の中、山の頂上、中庭、飲み屋、駐車場、映画館、刑務所、病院など、好きな舞台へ視聴者を誘い、一度限りの無常な芸術行為を無料で実行する企画です。

- 4月25日 18時から 26日 24時まで
- 序文のみの朗読又は上演
- 飾り気のない演技と演出
- 参加費無料
- 撮影は一切なし（写真は許可）

これらの条件下で、作者のスヴェトラナ・アレクシエーヴィッチはこの行動を承認し、支持します。

参加を希望する方は、早速 Facebook のグループ上でお知らせ下さい。

<https://www.facebook.com/groups/977646358962204/>

お名前、開催場所（住所・国）と開催時間を必ず記入して下さい。よろしければ、顔写真&/又は開催場所の写真、メールアドレス、ホームページ、電話番号も追加できます。

各イベントはみなさんに担当していただきます。実行にあたってはなるべく容易で負担の少ないものがいいです。「4・26 の呼びかけ」に応じていることだけ明確にし、イベントを宣伝して下さい。

みなさんの提案は受信順に 2021 年「4・26 呼びかけ」の Facebook グループとブログ上でリストアップして行きます。世界中の記者や、興味のある方が情報を得られ、コミュニケーションを取れる場にしていきます。

2021 年「4・26 呼びかけ」チームの連絡先：

【仏語】ブルノ・ブサゴル Bruno Boussagol [cokoller@bluewin.ch](mailto:cokoller@bluewin.ch)

【英語】アンドレ・ラリヴィエール André Larivière [andre.lariviere@laposte.net](mailto:andre.lariviere@laposte.net)

【日本語】ユミ・セリア Yumi Célia [yumi.celia@gmail.com](mailto:yumi.celia@gmail.com)

【露語】【ウクライナ語】ニカ・ルダンテク Nika LeDantec [artnouv@gmail.com](mailto:artnouv@gmail.com)